

(資料1)

表示内容増加に対応した包材と関連技術

2018年11月27日
凸版印刷株式会社
パッケージソリューション事業部 販促本部
松本 博

【免責事項について】

本資料は、特定の用途における正確性や妥当性を保証するものではありません。

【著作権について】

本資料の著作権は、当社に帰属します。本資料の無断複製または転用等を禁止します。

【本日お話しさせていただくこと】

- ・凸版印刷のご紹介(5つのコアテクノロジー)
- ・食品包材の表示面積を増やす
ユニバーサルデザイン
- ・RFIDの活用
- ・情報搭載型包材・コードの活用
- ・データベースの構築



凸版印刷株式会社
TOPPAN PRINTING CO.,LTD.

所在地

本店 東京都台東区台東1丁目5番1号
本社 東京都千代田区神田和泉町1番地

創業

明治33年(1900年)

代表者

代表取締役社長 金子真吾

資本金

104,986(百万円) (2017年3月末現在)

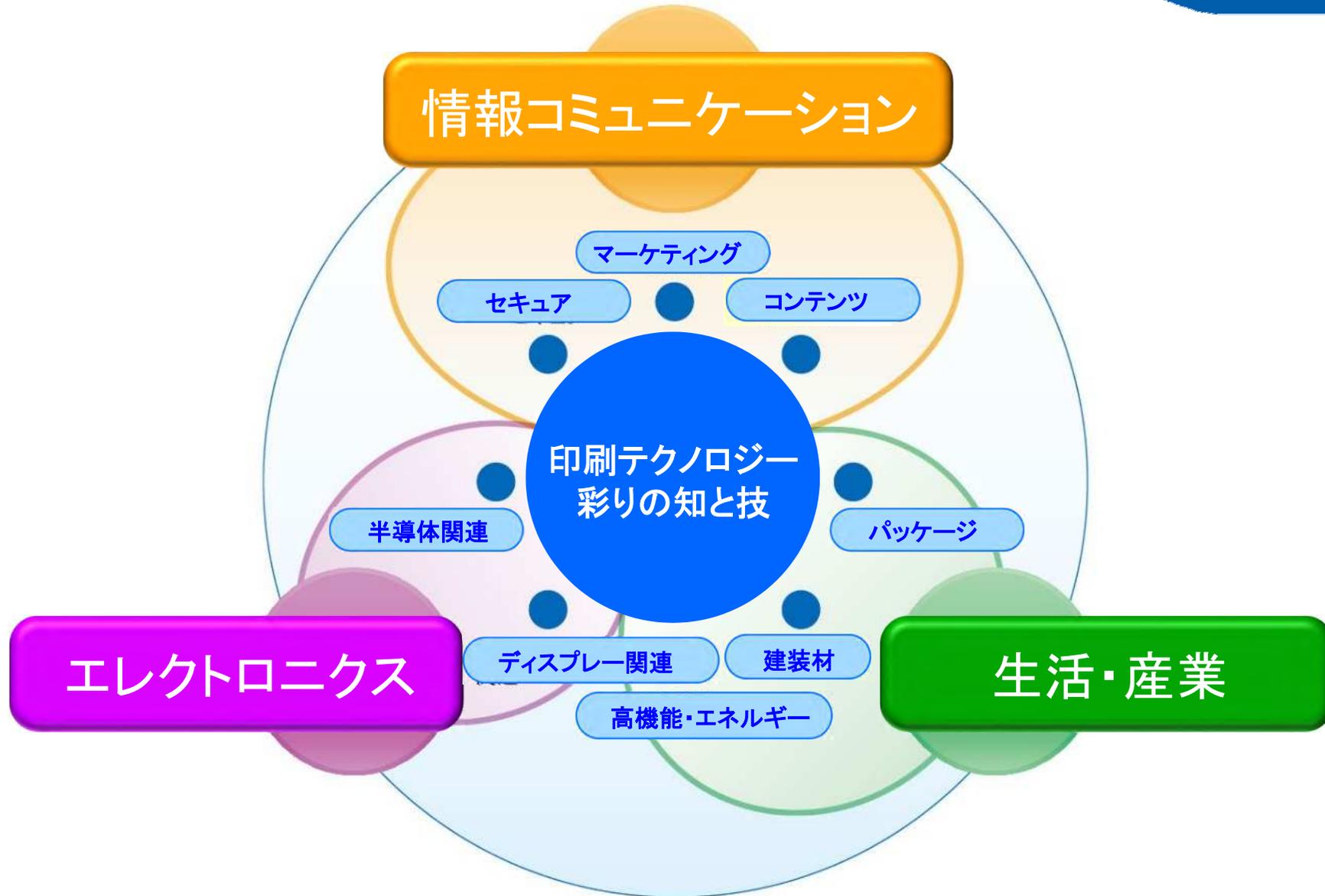
従業員数

連結 50,705名 (2017年3月末現在)

連結売上高・営業利益(2016年度)

売上 1,431,595(百万円)

営業利益 51,601(百万円)



トッパンの3つの事業分野の基盤となるのが「彩りの知と技」そして「印刷テクノロジー」です。原点である「印刷術」が「印刷技術」に進化し、マーケティング・IT・クリエイティブ・様々な加工技術が融合・進化した姿をトッパンでは「印刷テクノロジー」と呼んでいます。

原点

現在

将来

【体系図】



トッパンの「印刷テクノロジー」は、「微細加工」「表面加工」「成型加工」「情報加工」の4つの加工技術、および「マーケティング・ソリューション」という、5つのコアテクノロジーによって構成されています。

●GLFILM



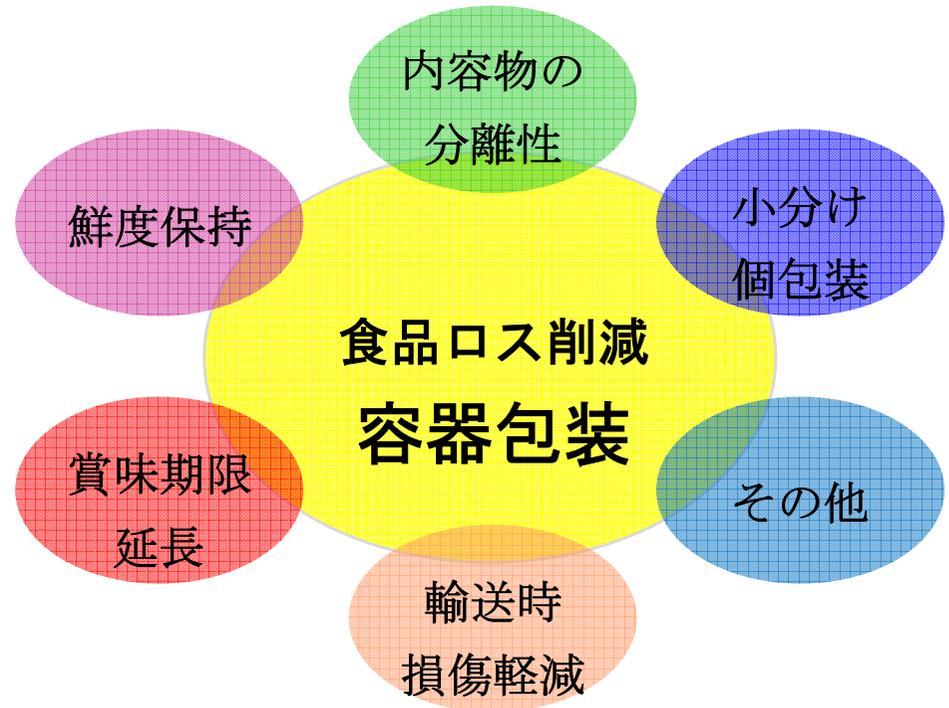
●エコシート



●反射防止フィルム



商品を包んで保護するパッケージ。その製造工程から生まれた表面加工技術は、異なる機能を持つフィルムや樹脂を貼り合わせて積層するラミネーションへ進化しました。その代表格である透明ハイバリアフィルム「GLFILM」は当初、食品包装に用いられてましたが、医薬品やエレクトロニクス包材のみならず、産業資材分野にも利用範囲が拡大しています。



容器包装の高機能化

- ・賞味期限の延長
- ・流通途上での廃棄抑制
- ・製造工程の改善 等

食品ロス削減